

千葉大学病院に入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年11月6日

総合診療科

総合診療科では、DPC とタイムスタディを用いた臓器専門医のプライマリ・ケア診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年4月1日～2023年3月31日の間に千葉大学病院に入院された方

1. 研究課題名

「DPC とタイムスタディを用いた臓器専門医のプライマリ・ケア診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）」

2. 研究期間

2023年承認日～2028年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

2024年4月から医師の業務負担軽減を目的とした医師働き方改革が開始されますが、単に労働量を削減しただけでは医療の質、医療安全は確保できません。米国では病棟総合医（ホスピタリスト）や診療看護師（ナースプラクティショナー）など、入院患者の主治医機能、領域横断的な診療機能を主として有する専門医が活躍してタスクシフト・タスクシェアを実現しています。一方で本邦ではこれらの職種は組織的には養成されておらず、臓器専門診療科が専門領域からプライマリ・ケア領域まで幅広く対応することで日々の診療を行っています。日進月歩の医学において専門領域の情報量は日々増えており、領域横断的な診療と現状の割合のまま両立させることには困難が予想されます。そのため、本邦における

臓器専門診療科のプライマリ・ケア領域の負担を可視化することができれば、タスクシフト、タスクシェアの基礎資料となり、より効率の良い医療を提供することに繋がれると考えました。本研究では DPC(診療群分類包括評価)という入院患者の診療情報からプライマリ・ケア診療の負担がどれくらいあるかを評価する研究計画を立案しています。

DPC では、患者 ID や年齢、性別、入院中に診療を行った診断、検査、治療などが一元的に整理されており、これらは千葉大学病院で保管しております。2017 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに千葉大学病院に入院された患者の DPC データを用いて、主たる入院理由がプライマリ・ケア領域の診療に該当する患者と、該当しない患者に分類して、その患者背景、要因を明らかにすることを本研究の目的としています。

患者情報につきましては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置換するなどの加工及び、個人情報保護に関する法律に準じた安全管理を行い、厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業の研究分担者(以下 5. 研究組織のリスト参照)に提供され、解析が行われます。個人を識別出来る情報を削除した研究データは研究責任者、研究分担者のみが参加する Microsoft Teams を用いて情報共有を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

研究の目的・方法に記述した様に、DPC(診療群分類包括評価)に入力された臨床情報を用いて、入院診療科、患者 ID、年齢、性別等基礎データおよび、病名、在院日数、手術の有無、臨床検査結果、がん原発部位、組織型、ステージ等の DPC 情報を収集します。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：総合診療科 (教授) 生坂 政臣

研究分担者：総合診療科 (講師) 上原 孝紀

研究分担者：総合診療科 (助教) 横川 大樹

研究分担者：クオリティ・マネジメント・センター (特任教授) 小林 美亜

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院総合診療科の医局、他のコンピュータと切り離されたコンピュータで保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で

行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。なお、申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合はこの限りではございませんので、ご了承下さい。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院総合診療科

医師 上原 孝紀

043 (222) 7171 内線6438

(FAX) 043 (226) 2680

takanori.ue@nifty.com